

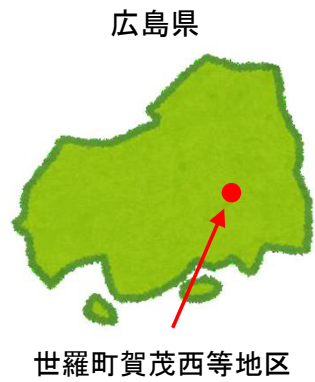
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稲栽培が盛んな中山間地域であり、集落営農法人等が地域の方々と連携し、集落を守っている。
- 農業者の高齢化に伴う農家数の減少、これによる耕作放棄地の増加を防ぐため、農地の受け手となる担い手の育成が必要。

【支援内容・背景】

- 水稲や高収益作物を栽培する担い手の経営規模の拡大に対応するため、農作業の省力化や効率化に取り組む必要がある。
- 助成対象者は地区の中心的な担い手であり、農地集積による栽培面積の拡大に対応して、作業の効率化を図ることが必要。そのため、作業の効率化に必要な農業用の機械の導入を支援。



助成対象者「株式会社 M」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成19年 設立(農事組合法人)
- 平成25年 JGAP穀物の認証取得
- 平成26年 人・農地プランの中心経営体に位置付け
- 平成27年 法人化(株式会社)

《事業活用の背景》

○ 地域の農地の受け手として、農地集積や栽培面積の拡大を図るためには、1日あたりの作業面積を拡大する必要がある。そこで、作業効率向上のために、高性能コンバインを導入し、経営の高度化及び安定化を図る。

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

- 経営面積 51.2ha
- 土地利用型作物中心の経営
- 従業員数 8人

《事業による整備内容》

- コンバイン 1台115馬力
事業費 12,682千円
(国費 3,000千円)



【現在の経営状況】
〈R4年度〉

- 経営面積 57.9ha (113%)
- 高収益作物(ヒロシマナ)導入の取組
- 従業員数 9人 (113%)

事業の
効果

《対象者》 高性能コンバインの導入により、経営面積を拡大。同地区で実施中の県のほ場整備事業の完了後には、農地の受け手として、さらなる経営面積拡大を見込んでいる。

《地区》 長期的に農業経営が継続できる地域の担い手となる経営体が確保できた。